

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	161	2年	前期	看護学科	必修	薬と健康（共通） Pharmacology	30	2
担当教員								
飛鷹 範明*								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	○ ③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	○ ④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
将来、患者中心の適切な薬物療法を推進できるようになるため、薬の基本的性質および臨床における代表的な疾患とその治療に用いられる薬に関する基本的知識を修得する。								
到達目標（授業目標）								
①薬の基本的性質を理解できる。								
②各疾患に用いられる代表的な薬の選択理由、副作用、使用時の注意点などを説明できる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	薬の基礎知識（1）：薬の薬理作用（主作用、副作用）							
2回	薬の基礎知識（2）：薬の体内動態							
3回	薬の基礎知識（3）：薬の服用時間、剤形							
4回	薬の基礎知識（4）：薬の相互作用							

5回	疾患と薬（1）：消化器系疾患と薬
6回	疾患と薬（2）：循環器系疾患、血液系疾患と薬
7回	疾患と薬（3）：代謝系、内分泌系疾患と薬
8回	疾患と薬（4）：呼吸器系疾患と薬
9回	疾患と薬（5）：中枢神経系疾患と薬①
10回	疾患と薬（6）：中枢神経系疾患と薬②
11回	疾患と薬（7）：末梢神経系疾患と薬
12回	疾患と薬（8）：がん性疼痛と薬（麻薬）
13回	疾患と薬（9）：悪性腫瘍（がん）と薬
14回	疾患と薬（10）：感染症と薬
15回	疾患と薬（11）：その他の疾患と薬、薬害
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
定期試験（100％）で評価する。60点以上を合格とする。	
教科書	看護学テキストNICE 薬理学（南江堂） 五味田裕、荒木博陽「臨床場面でわかる！くすりの知識改訂第2版」（南江堂）
参考図書等	* 適宜、プリント（補助資料）配布する。
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）	
関連科目	
前科目	
後科目	142 医療と安全（共通） 143 チーム医療（共通）
実務家教員	
薬剤師（医療機関）	飛鷹 範明*
備考	